

自己評価シート 【五本木住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1)	
理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】	
(a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。	
(b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。	
(c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
<input type="checkbox"/> a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	理念や基本方針について児童館のパンフレットへの掲載などの周知には至っていない。ただし、毎月の児童館のお知らせで前月の児童館の様子や事業の目的などの掲載、児童館事業や地域との会議の中などで周知を行っており、一定の理解は得ている。
1-1-2 (2)	
理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
児童館事業を行う際には、理念に基づき計画し、実施をしている。地域の会議などでは、理念や基本方針に沿った事業の意図と実施結果などを丁寧に報告し、周知を図っている。日常的に利用者の意見を聞き、より良い児童館運営に生かしている。	利用者に対してよりわかりやすく周知ができるよう、館内で周知方法などを工夫する。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1)	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】	
(a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
(b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。	
(c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）	
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	年間事業計画の中で、地域の子育て支援や子どもの意見を尊重した遊びの支援などについて盛り込んでいる。	
2-1-(2)		
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。		
【判断基準】		
(a) 児童館の施設特性を發揮している。		
(b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。		
(c) 児童館の施設特性を發揮していない。		
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）	
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館は0歳から18歳までの児童が利用できる施設で、一人で来ても、友達と一緒に遊びに来ても自由に遊ぶことができる。また、「ようこそ1年生歓迎会」や「ごほんぎフェスタ(児童館まつり)」、「はねつき大会」などの児童館事業を通して、異年齢の子どもが共に活動し交流が持てるように設定している。 職員も子どもとの信頼関係を築き、困ったときや悩んだときに話ができる関係作りを行っている。	
2-1-(3)		
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。		
【判断基準】		
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。		
(b) -		
(c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。		
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）	
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	「こども会議」を実施し、児童館運営において子どもたちの意見を取り入れるようにしている。各部屋での遊び方や児童館でやってみたいことなどの意見を受け、日常の活動に取り入れている。	
2-1-(4)		
児童館の理念・目的及び施設特性について		
良いと思う点		改善が必要だと思う点
児童館に行けば、自分が遊びたいものがあり、安心してくつろいで遊べる居場所の一つになっている。		18歳までの利用対象者のうち、特に中高生に対して児童館の目的や施設特性を知ってもらう。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1)	
子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
(b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。	
(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの状況については職員間で引継ぎを行い、子ども一人ひとりの状態を把握したうえでかかわることができるように打ち合わせ等を行っている。
2-2-(2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】	
(a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
(b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。	
(c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館のどの部屋においても子どもの自発的な遊びができるようにしている。図工室では、自由工作の中で自分が作りたいものが実現できるよう職員も援助している。プレイルームでの遊びでも子どもたち同士で遊びを決めるようにし、子どもたちがやりたいことを実現できるようにしている。
2-2-(3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】	
(a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
(b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。	
(c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	日常活動の中では、同年齢での遊びと合わせ、異年齢の仲間関係の中での遊びも展開されている。特にプレイルームでの遊びは異年齢のかかわりが多くなっている。行事活動の中では、異年齢の集団の中で共に話し合いをし、準備を進めるなど子どもたちが自発的に取り組む姿が見られる。
2-2-(4) 遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
遊びを通して、相手に対しての思いやりの気持ちを持つ場面や新しい仲間関係が形成されるなど、子どもたちの健全育成において必要なかかわりあいがある。あいが持てるきっかけとなっている。	遊びの中では、勝ち負けにこだわってしまうなどで、相手に対して不適切な言動をとってしまう子どもがいる。自分の気持ちに折り合いをつけることを遊びの中で習得できるよう援助していく必要がある。

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】	
(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。	
(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。	
(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・「災害時初期対応マニュアル」に基づき避難訓練を実施し、日常的に災害等に備えるとともに子どもたちが自分で考えて行動できるようにしている。 ・災害用伝言ダイヤルや安心でんじょばともいざという時に、迅速かつ正確な情報提供を利用者にできるように訓練を実施している。また、「児童館・学童保育クラブ児童の安全確保について」に準じて対応を行っている。
2-3-(2) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】	
(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。	
(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。	
(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	ヒヤリハット事例などは、職員間で振り返り、共有し、再発防止に努めている。施設点検を行う中で、危険箇所等がないかを確認している。